



# 個人投資家向け会社説明会

2017年11月

## 目次

---

1. 会社概要・沿革
2. 事業内容
3. 雪印メグミルクグループの長期ビジョン&計画
  - (1) グループ長期ビジョン2026
  - (2) グループ中期経営計画2019
  - (3) 2018年3月期の連結業績予想
4. 2018年3月期 第2四半期 決算概要&取組み
5. CSR経営

# 1 会社概要・沿革

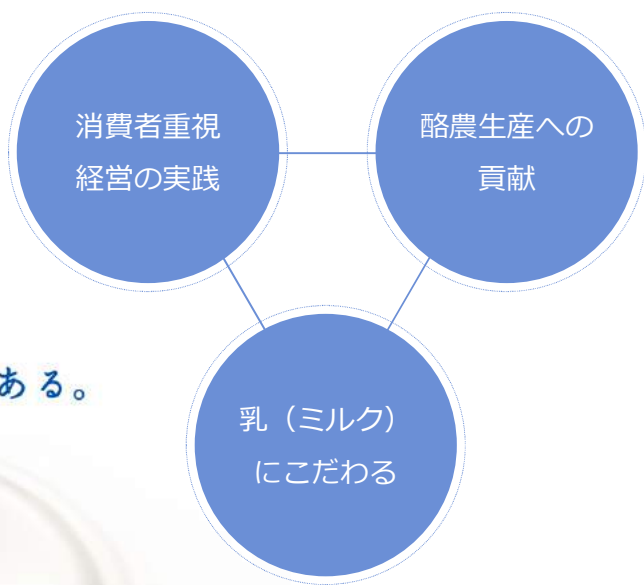


## グループ企業理念 [ 1 ]

雪印メグミルクグループは、  
3つの使命を果たし、  
ミルクの新しい価値を創造すること  
により、社会に貢献する企業であり  
続けます。

「コーポレートスローガン」

**未来は、ミルクの中にある。**



## グループ企業理念 [ 2 ]



コーポレート  
シンボルマーク

### 会社概要

雪印メグミルク株式会社 MEGMILK SNOW BRAND Co.,Ltd.
2009年（平成21年）10月1日
（本社）東京都新宿区四谷本塩町5番1号 （登記上本店）北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号
200億円
5,013名（連結、2017年（平成29年）9月30日）
東京証券取引所、札幌証券取引所
西尾 啓治

## 沿革 [ 1 ]

### 雪印メグミルクの歴史は 北海道バターから始まりました

創業と同時にバター製造を開始。集乳体制を整え、分離機の使い方から指導した。1926年（昭和元年）に近代的工場ができてからは、最高級品だけを「雪印北海道バター」として販売し、信頼を築いた。



### 日本で初めてチーズの 大規模製造を始めました

1928年（昭和3年）ごろからチーズの研究・試作、試験販売を始め、1932年（昭和7年）には工場を建設し製造をスタート。1934年（昭和9年）の発売直後から売り切れ続出の盛況で、まもなく日本初の大規模チーズ専門工場となった。



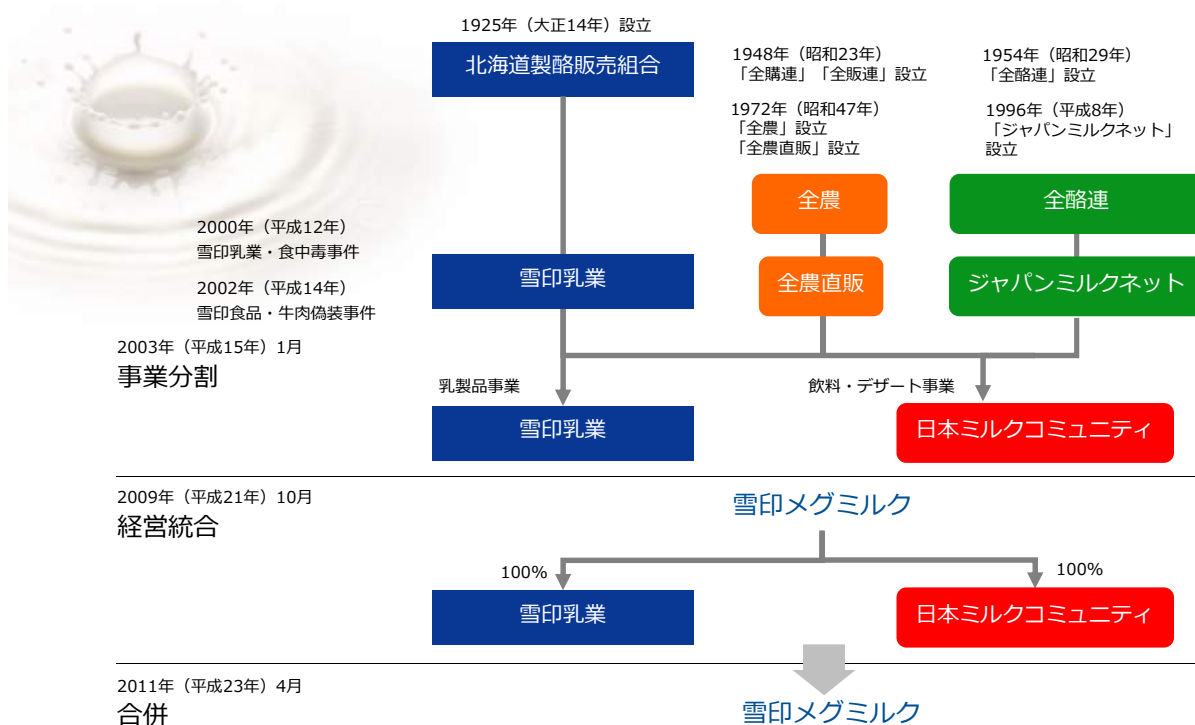
### 研究を通して、 ミルクの未来を拓いてきました

研究部門が設置されたのは1933年（昭和8年）のこと。加工技術や成分、乳酸菌の研究を行ってきた。その後、札幌研究所、技術研究所（現ミルクサイエンス研究所／埼玉県）、チーズ研究所（山梨県）を開設し、本格的な研究体制を整えた。



## 沿革 [2]

### 雪印メグミルク設立経緯



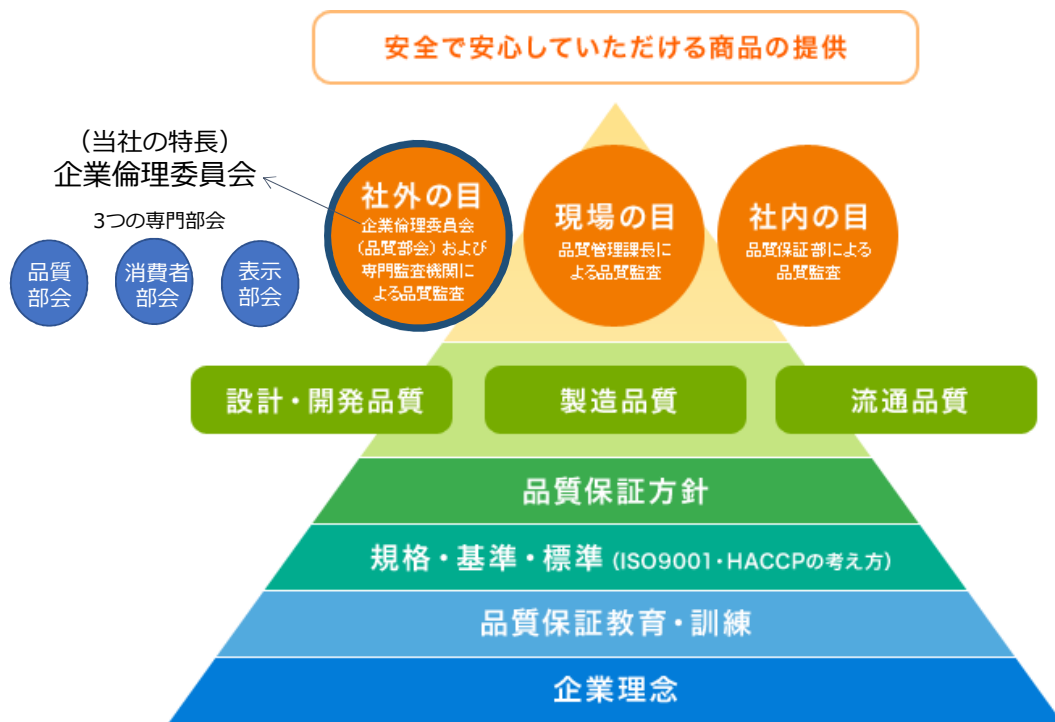
7

## 事件を風化させない活動

食の責任を強く認識し、果たしていくことを誓う日の活動  
～雪印の事件を風化させない～

- ・毎年、2つの事件が発生した6月と1月に実施しています。
- ・社外有識者による講演、品質に関する理解度テストの実施、食中毒事件当時の報道番組の視聴などを実施しています。
- ・事件経験者に加え、未経験者も含めたパネリストによる討論、会場の役員を含めた参加者同士（2～3名）による意見交換を行っています。
- ・活動内容は動画におさめて、全社で共有しています。

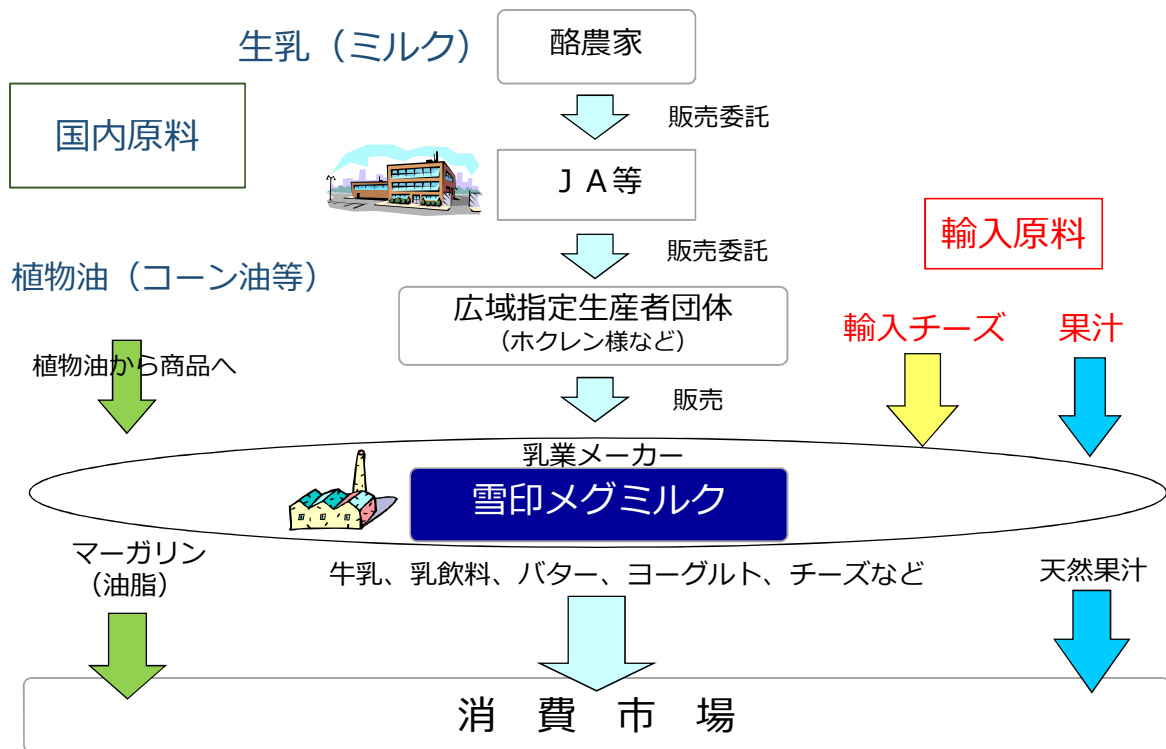
8



## 2 事業内容

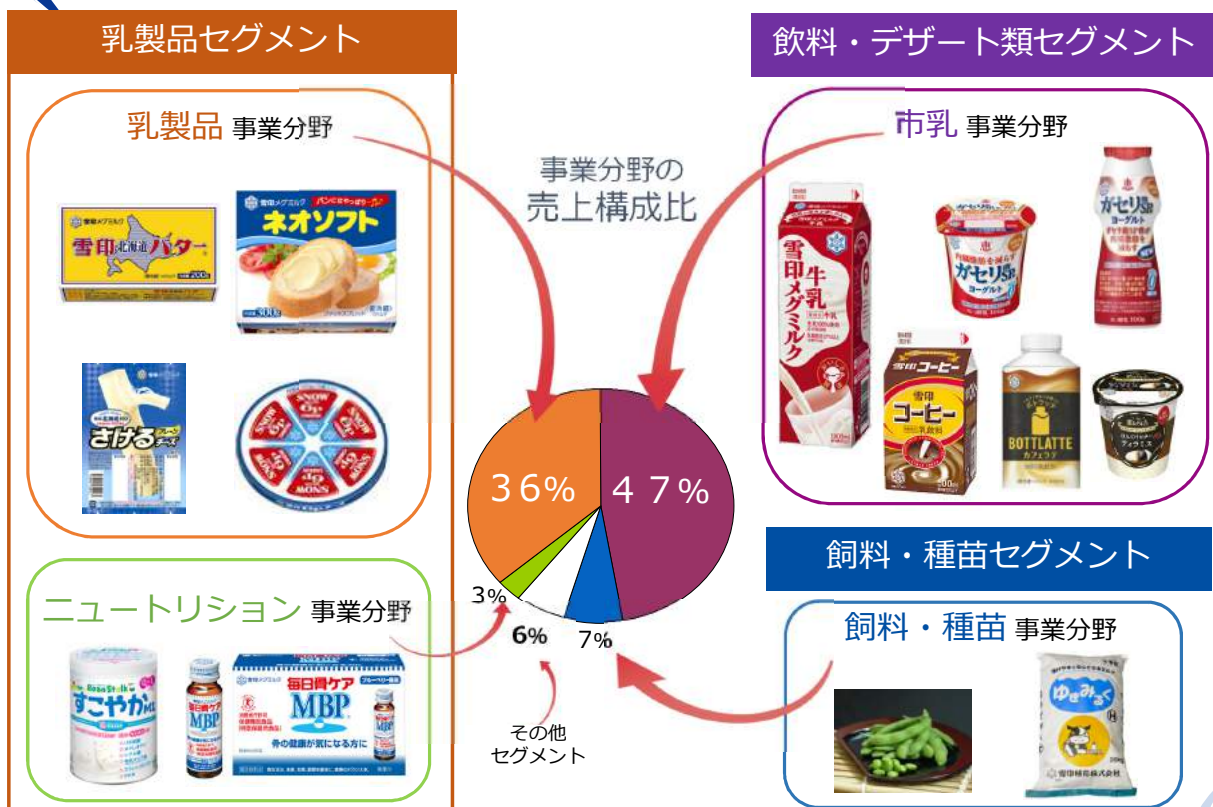


## 事業のしくみ（概要）



11

## セグメント



12



# 事業内容

## 事業分野と概要



未来は、ミルクの中にある。

## 雪印メグミルクグループ



バター、油脂、  
チーズ（国内・国外）、  
その他乳製品 など



牛乳・乳飲料、ヨーグルト、  
果汁・野菜・清涼飲料、  
デザート など



粉乳（国内・海外）  
機能性食品、栄養剤、  
機能性素材 など



飼料、種子（牧草・飼料・  
作物・野菜）・造園  
肥育牛 など

### 事業内容

雪印メグミルク 甲南油脂 ハケ岳乳業 エスアイシステム チェスコ 雪印オーストラリア アダーデライツオーストラリア 雪印メグミルクインドネシア ニチラク機械 クレスコ など	雪印メグミルク みちのくミルク ハケ岳乳業 いばらく乳業 エスアイシステム 三和流通産業 直販配送 グリーンサービス クレスコ など	雪印ビーンスターク 雪印メグミルク 台湾雪印・雪印香港 雪印上海 雪印オーストラリア イーエヌ大塚製菓 アミノアップ化学 ベルネージュダイレクト など	雪印種苗 雪印種苗アメリカ 道東飼料 ロイヤルファーム RFベンケル牧場 RF青森牧場 など
グループ企業			
YBS、雪印パーラー、雪印こどもの国牧場			

## 乳製品事業分野 [1]



### バター

1925年（大正14年）から製造販売を手がけ、変わらぬおいしさと新しい価値を提供。



### マーガリン

乳製品づくりの技術を活かした豊かな風味や口どけの良い商品を、東南アジアを含め販売。



### プロセスチーズ

1934年（昭和9年）から製造販売を手がけ、2013年（平成25年）からはインドネシアにおいてもチーズを製造販売。



### ナチュラルチーズ

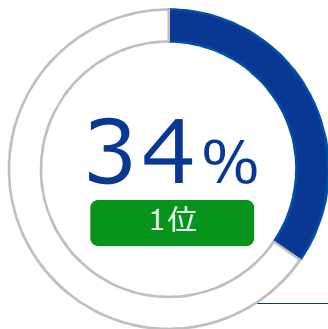
代表的な商品は北海道産の生乳を100%使用した「雪印北海道100」シリーズのカマンベールチーズやさけるチーズ。



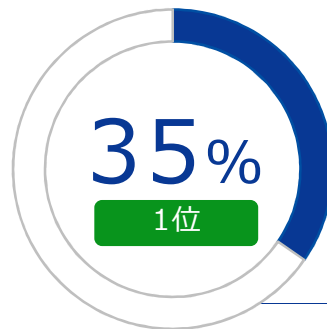
## 乳製品事業分野 [ 2 ]



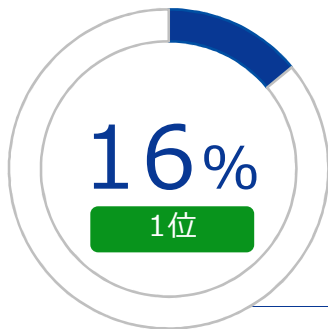
市場シェア (2017年3月期：物量ベース)



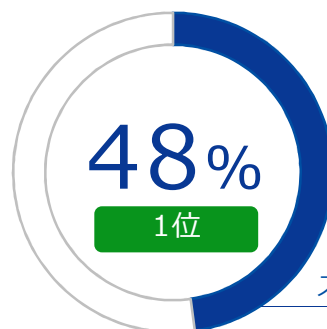
バター



マーガリン



チーズ



スキムミルク

## 乳製品事業分野 [ 3 ]



事業所・グループ会社





## 市乳事業分野 [ 1 ]



### 牛乳・乳飲料

おいしさキープ製法で作った雪印メグミルク牛乳、カルシウムを強化した機能性乳飲料など。



### ヨーグルト

ヒトの腸に生きのまま届き長くとどまる「カセリ菌SP株」を使った「恵 megumi」シリーズなど。



### 果汁・その他の飲料

Dole®の果汁飲料、農協ブランドの野菜飲料、コーヒーなど。



### デザート

食感やミルクの味わいなどにこだわった、プリン、ゼリーなど。

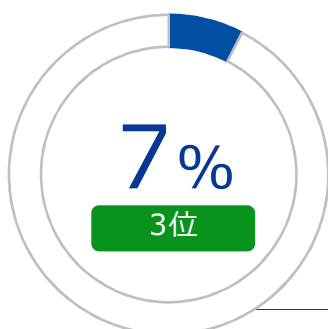


17

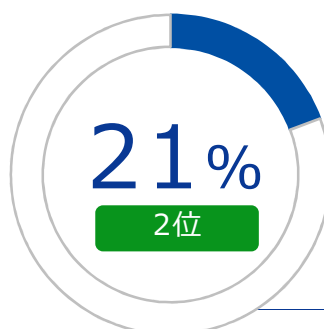
## 市乳事業分野 [ 2 ]



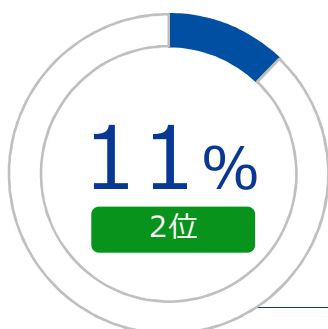
市場シェア (2017年3月期：金額ベース)



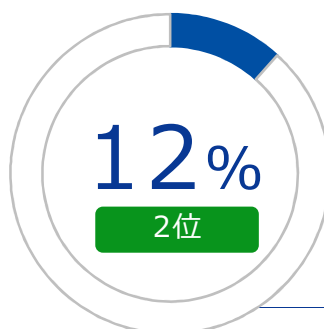
牛乳



乳飲料



ヨーグルト



デザート

18

# 市乳事業分野 [ 3 ]



事業所・グループ会社

札幌工場  
札幌研究所  
川越工場  
いばらく乳業  
野田工場  
海老名工場  
雪印メグミルク (本社)  
八ヶ岳乳業  
豊橋工場  
京都工場池上製造所  
福岡工場  
京都工場  
名古屋工場  
神戶工場  
神戸工場  
みちのくミルク

● 雪印メグミルク 本社・工場  
▲ 雪印メグミルク 研究所  
■ 雪印メグミルク 関係会社

# ニュートリション事業分野 [ 1 ]



## 粉乳事業

半世紀以上の母乳研究成果を生かし、安心して育児ができる粉ミルクを中心に提供。



## 機能性食品事業

ミルクから生まれた「MBP」などの機能性素材を使ったサプリメント、健康食品を取揃えている。



## 臨床栄養事業

「栄養」を科学的に探究・検証し、病気の方や高齢の方の病態・状態を考慮した各種栄養剤、摂食回復支援食および口腔ケア用製品を製造・販売している。



## 機能性素材事業

「AHCC」、「オリゴノール」等、天然由来素材を活用した機能性健康食品、化粧品素材を提供。



## ニュートリション事業分野 [ 2 ]



事業所・グループ会社



21

## 飼料・種苗事業分野 [ 1 ]



### 飼料事業

「養牛用飼料専用製造ライン」から、地域に合わせた乳牛用、肉牛用配合飼料を供給。



### 種苗事業

牧草・飼料作物、野菜、緑肥作物の種子、花き種苗など。



### 緑化造園事業

公園・街路樹・庭園造成と維持管理、屋上緑化やスポーツ施設の芝生造成。



### 肥育事業

肉用牛の素牛を導入し、肥育、肥育牛の出荷・枝肉販売までを一貫して行う。



22



事業所・グループ会社



### 3 雪印メグミルクグループの長期ビジョン&計画



- (1) グループ長期ビジョン2026
- (2) グループ中期経営計画2019
- (3) 2018年3月期の連結業績予想

- (1) グループ長期ビジョン2026
- (2) グループ中期経営計画2019
- (3) 2018年3月期の連結業績予想

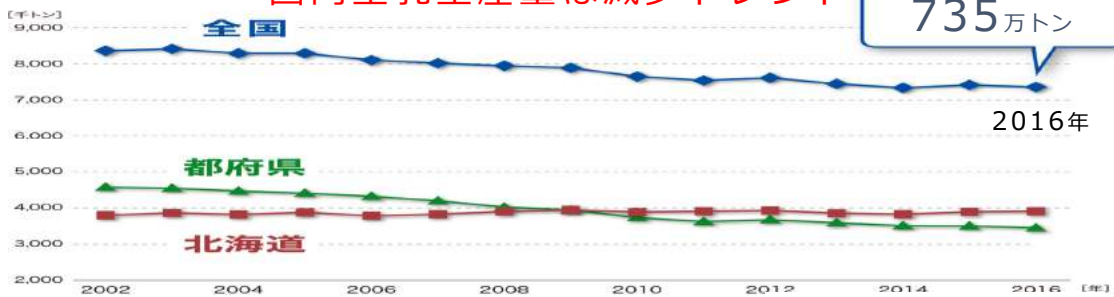


(1) グループ長期ビジョン2026

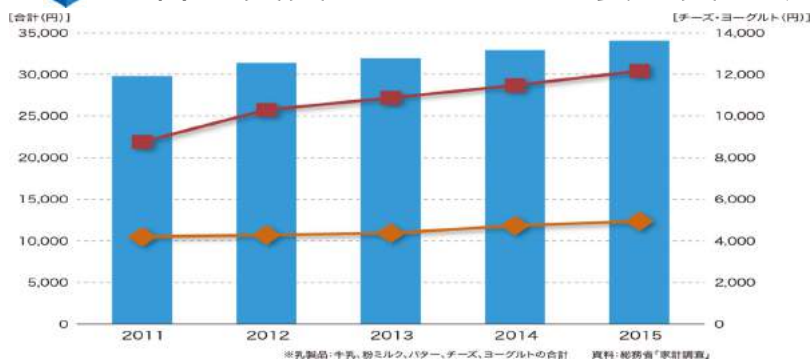
## 環境認識 [国内]

### 国内生乳生産量推移

国内生乳生産量は減少トレンド



### 家計消費支出における乳製品支出動向

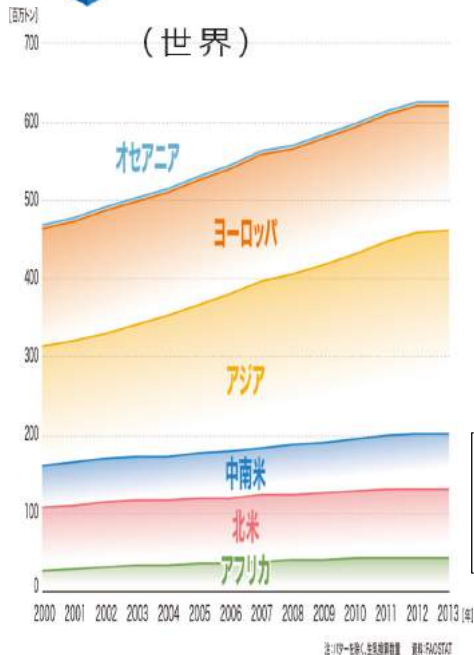


国内乳製品市場は伸長トレンド

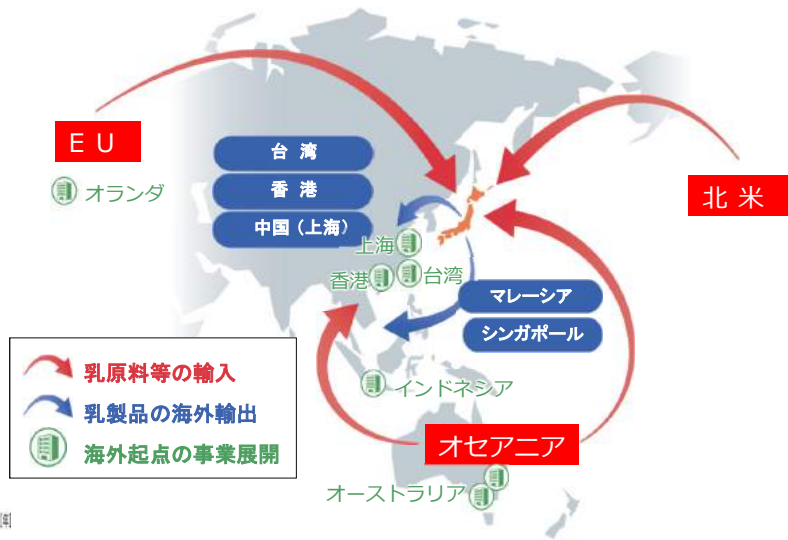
- 乳製品
- ◆ チーズ
- ヨーグルト

# 環境認識 [海外]

## 乳製品消費量の動向 (世界)



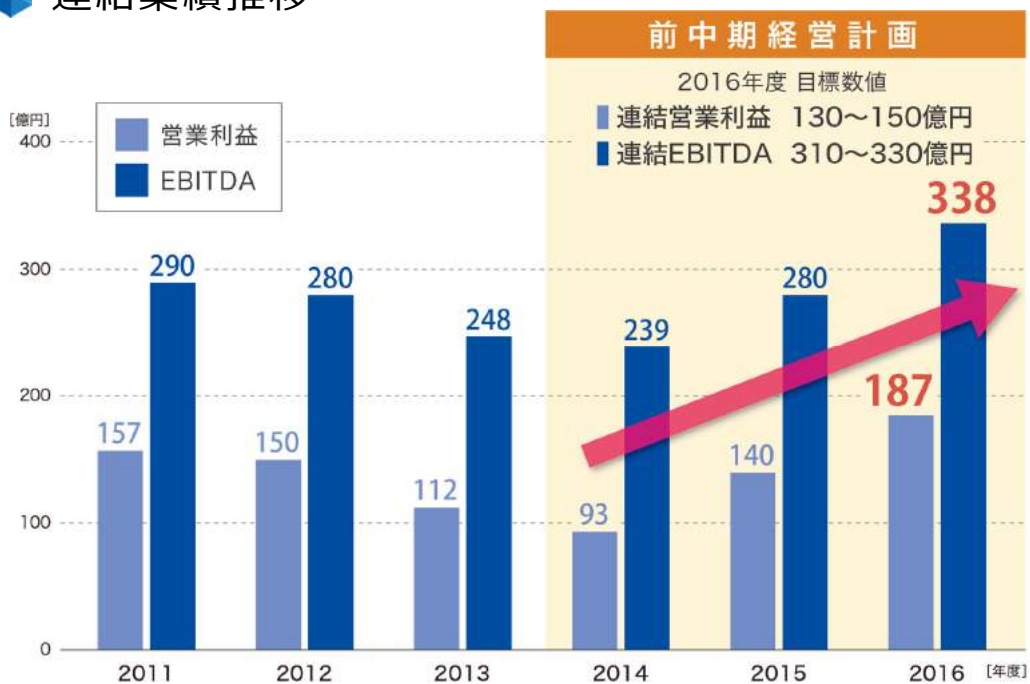
## 「乳の国際化」が進展



世界の乳製品消費量は拡大

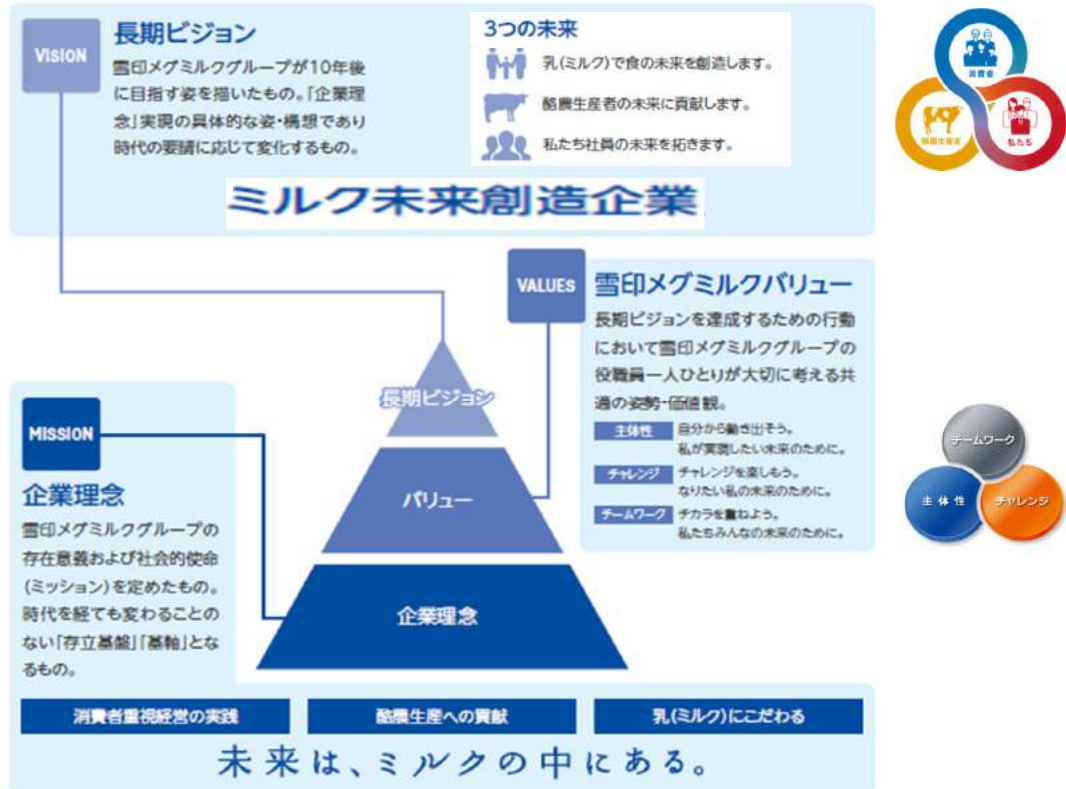
# 前中期経営計画の達成状況

## 連結業績推移





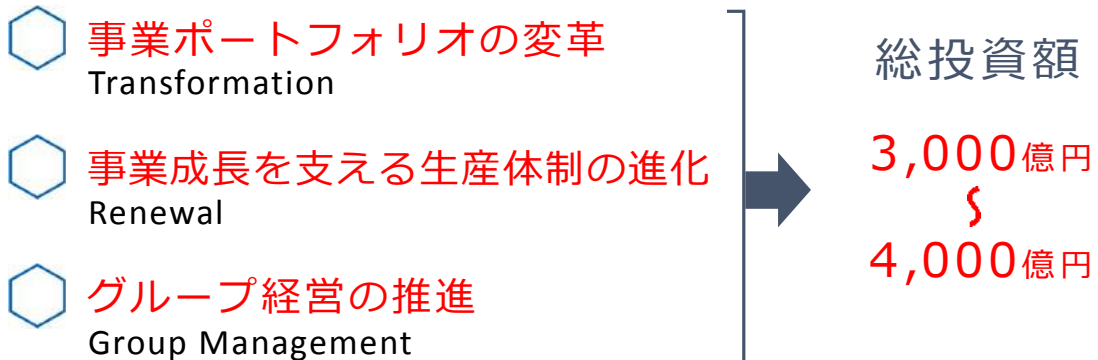
## 策定の背景・目的



## 戦略のコンセプト

# Transformation & Renewal

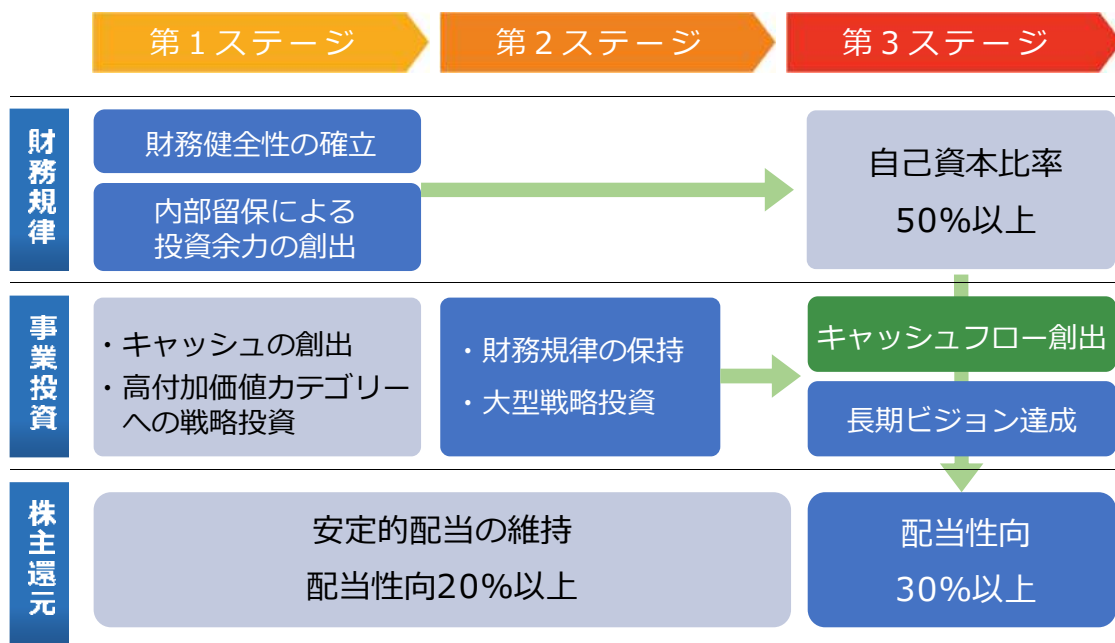
「変革」、そして更なる「進化」へ



## ロードマップ [3つのステージ]

	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
	2017~2019	2020~2022	2023~2026
位置付け	Transformation (変革) の始動 グループ経営の始動・推進	Transformation (変革) の加速 グループ経営の展開強化	Renewal (進化) へ グループ経営の加速・進化
役割	<ul style="list-style-type: none"><li>・収益基盤の複数化 キャッシュフローの最大化</li><li>・生産体制進化への着手</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・収益基盤の確立</li><li>・生産体制進化の本格始動</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・4事業分野による収益の安定的創出</li><li>・調達・生産体制の確立</li></ul>

## キャッシュフロー配分方針



## 2026年度（10年後）のゴールイメージ



### 財務指標（目処）

連結ROE 8%以上  
連結自己資本比率 50%以上 連結配当性向 30%以上

- (1) グループ長期ビジョン2026
- (2) グループ中期経営計画2019
- (3) 2018年3月期の連結業績予想

## Transformation（変革）の始動と グループ経営の始動・推進

### 基本戦略

○ 事業ポートフォリオ変革 ～ グループ収益基盤の強化 ～  
事業ポートフォリオ変革を支える戦略

- 戦略的な調達・生産体制構築による競争基盤の確保
- 研究開発起点の「ものづくり」による新たな価値の創造
- 人材の多様性を尊重した生産性の高い組織の構築  
～成長を支える人材の育成と働き方改革の推進～
- グループ経営資源活用による競争力・総合力の最大化

## 事業ポートフォリオ変革 ～ グループ収益基盤の強化 ～



乳製品

1. バターの安定供給とブランド強化
2. チーズのボーダレス展開による更なる成長



市乳

1. 機能性を軸としたヨーグルトの戦略的拡大
2. プロダクトミックスの最適化



ニュートリ  
ション

1. 機能性食品事業の成長モデル構築
2. 価値訴求による粉乳事業の競争力強化



飼料・種苗

1. 種苗事業の戦略的拡大
2. 飼料事業の効率化による収益性向上



## 主力商品群強化による市場拡大

- 1 バターの安定供給とブランド強化
- 2 家庭用主力チーズの販売強化と生産体制強化
  - 大樹工場インフラ整備
  - 国産ナチュラルチーズ強化  
(カマンベール・さけるチーズなど)
  - プロセスチーズ主力商品拡大  
(6P・ベビーチーズなど)
- 3 業務用チーズの新市場開拓
  - スライス・ダイス・シュレッドチーズの拡販
  - ソフトチーズの新商品投入



[大樹工場]



## チーズのボーダレス展開による更なる成長

- 1 国産商品の輸出 (家庭用・業務用)
- 2 海外生産・海外販売拡大
  - 雪印メグミルク商品展開
  - 海外拠点の活用



### 雪印メグミルクインドネシア

#### プロセスチーズ拡大



### 雪印オーストラリア

#### ナチュラルチーズ拡大





## 機能性ヨーグルトの戦略的拡大

1 生産能力の増強、供給体制強化 → 80億円設備投資

◇ ドリンク

海老名工場 + 京都工場 ライン新設

◇ ハード

◇ プレーン

海老名工場

海老名工場

◇ ソフト

協同乳業



2 商品ラインナップの拡大

3 マーケティング強化

ガセリ菌SP株認知度アップ



## プロダクトミックスの最適化

1 デザート・パーソナルタイプの商品力強化

ルナ物産 デザートライン新設



2 乳飲料の高付加価値化







## 機能性食品事業の成長モデル構築

- 1 毎日骨ケアMBP®を軸とした市場拡大
- 2 商品ラインナップの拡大
- 3 マーケティング投資の強化



<機能性食品事業の売上高推移>



## 価値訴求による粉乳事業の競争力強化

～ 国内外の拡大展開 ～

海外

- 1 海外粉乳事業としての新たな展開  
[妊産婦向け・成人向け粉乳導入拡大]



- 2 海外ブランド統一

国内

- 3 独自性のある育児用粉乳事業推進  
[母乳研究継続、Web活用]





## 種苗事業の戦略的拡大

- 1 (牧草・トウモロコシ) 飼料作物・野菜・緑肥作物・微生物事業の伸長による収益性の拡大



チモシー【ホライズン】



エダマメ【豊風香】



緑肥種子 業界No.1

- 2 新研究棟を利用した競争力のある新品種・新技術の開発



雪印種苗株式会社  
北海道研究農場新研究棟  
2017.6月竣工



## 飼料事業の収益性向上

- 1 総合提案型営業の推進  
[ 牧草・飼料などの商材と技術サポートを組み合わせた営業展開 ]



飼料事業



種苗事業



トータルサポート室




- 2 効率的な調達・生産・物流体制の構築

## 事業ポートフォリオ変革を支える戦略

戦略的な調達・生産体制構築による 競争基盤の確保	研究開発起点の「ものづくり」による 新たな価値の創造
①グループ会社・パートナーとの連携強化 ②国内外における安定調達推進 ③国内乳資源の確保と有効活用 ④将来を見据えた生産体制進化への着手	①研究開発起点の付加価値創出 ◆研究開発体制・機能の強化 ◆オープンイノベーションの推進 ②需要創造型・高付加価値商品の開発推進 ③マーケティング機能の強化
人材の多様性を尊重した 生産性の高い組織の構築	グループ経営資源活用による 競争力・総合力の最大化
～成長を支える人材の育成と働き方改革の推進～ ①人材の多様性確保 ◆女性活躍推進、採用の多様化 ②業務改革 ◆時短推進・在宅勤務導入 ③人材育成 ◆新たな研修体系、グループ人材育成	①グループ・バリューチェーンの強化 ◆グループ会社・パートナーとの連携 ②グループ・コーポレート機能の強化 ◆ガバナンス ◆品質保証 ◆環境活動

## 経営指標 [ 1 ]


 目標経営指標（連結）

	2019年度 目標値	2016年度 実績	伸長率 (2016年度対比)
売上高	6,300	5,879	107.2%
営業利益 (利益率)	220 (3.5%)	187 (3.2%)	117.6%
EBITDA	400	338	118.3%

(億円)

## セグメント別売上高／営業利益

(億円)

	2019年度目標値		2016年度実績		伸長率(2016年度対比)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 乳製品	2,500	130	2,323	117	107.6%	111.1%
 飲料・デザート	3,000	70	2,774	46	108.1%	152.2%
 飼料種苗	440	12	430	12	102.3%	100.0%
 その他	360	8	350	11	102.8%	72.7%
合計	6,300	220	5,879	187	107.2%	117.6%

## 投資および財務状況等の見通し

項目	水準(目処)
設備投資額	770億円(3年計)
連結ROE	8%以上
連結自己資本比率	40%以上
連結配当性向	20%以上
連結有利子負債残高	約750億円(2019年度末)

- (1) グループ長期ビジョン2026
- (2) グループ中期経営計画2019
- (3) 2018年3月期の連結業績予想



2018年3月期（連結業績予想）

## 連結業績予想 [経営成績と配当]

(億円、%)

■ 経営成績 ■	2017年3月期	2018年3月期	増減額	前期比
売上高	5,879	6,000	+120	102.1
営業利益	187	195	+7	104.0
経常利益	202	205	+2	101.1
純利益※	129	130	+0	100.1

※親会社株主に帰属する当期純利益

### ■ 配 当 ■

普通配当	40円	連結配当性向	20.9%
------	-----	--------	-------

## 連結業績予想 [セグメント別内訳]

(億円、%)

	乳製品		飲料・デザート類		飼料・種苗		その他	
	業績予想	前期比	業績予想	前期比	業績予想	前期比	業績予想	前期比
売上高	2,375	102.2	2,842	102.4	421	97.9	362	103.2
営業利益	112	95.6	61	131.9	10	79.7	12	108.9

乳製品セグメントのうち、  
ニュートリション事業

売上高	216	113.7
-----	-----	-------

## 4 2018年3月期 第2四半期 決算概要 & 取組み





## 連結業績（上期）

(億円、%)

	2017年3月期 (上期)	2018年3月期 (上期)	増減額	前期比	予想比
売上高	2,993	3,035	+42	101.4	100.0
営業利益	108	110	+1	101.7	110.7
経常利益	111	117	+6	106.0	112.2
純利益※	74	71	▲2	97.1	105.6

※親会社株主に帰属する四半期純利益

- ▶ チーズなどの主力商品のシェア拡大
- ▶ 機能性ヨーグルトなどの高付加価値商品の戦略的な販売拡大
- ▶ ニュートリション事業分野における新市場への展開拡大

53

## 乳製品事業分野（業績）



## 【乳製品セグメント】 ニュートリション事業を含む

(億円、%)

	上期実績	前期比	予想比	通期予想	前期比
売上高	1,177	102.9	101.9	2,375	102.2
営業利益	56	100.3	113.1	112	95.6

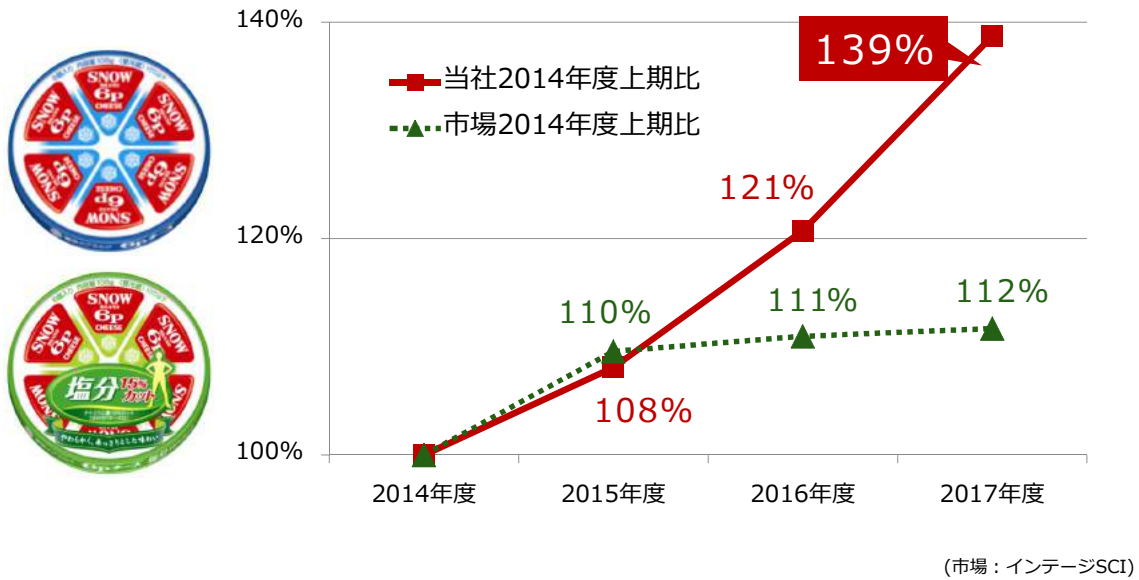
- バター：安定供給の継続
- 油脂：市場の低迷が続き、販売減少
- チーズ：市場伸長に伴い販売好調

54



ポーションチーズ（6Pチーズ類）の販売および市場動向（上期）

【ポーションチーズ伸長率（2014年度上期比）】



1. 新しい食べ方・食シーンの提案

- ▶ 「焼きロッピー」
  - 焼いて、海苔を巻いて
  - バーベキューの食材として



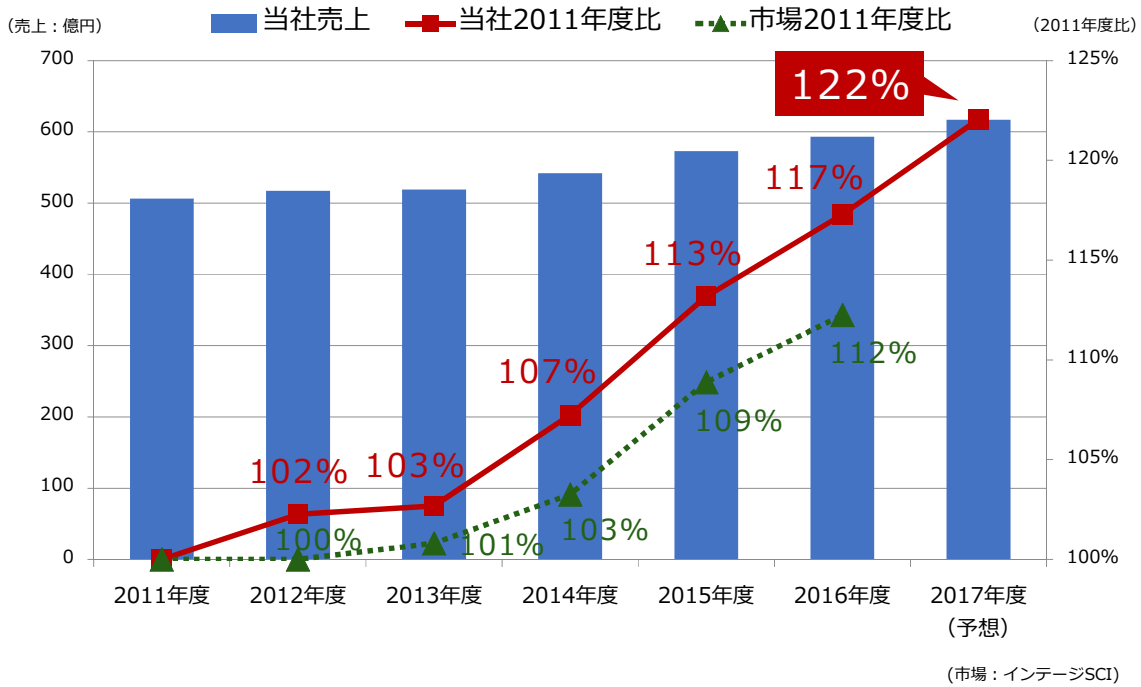
2. 低糖質志向の高まり



## 乳製品事業分野（チーズ）



### 【家庭用チーズの売上高および伸長率推移】



## 市乳事業分野（業績）



### 【飲料・デザート類セグメント】

(億円、%)

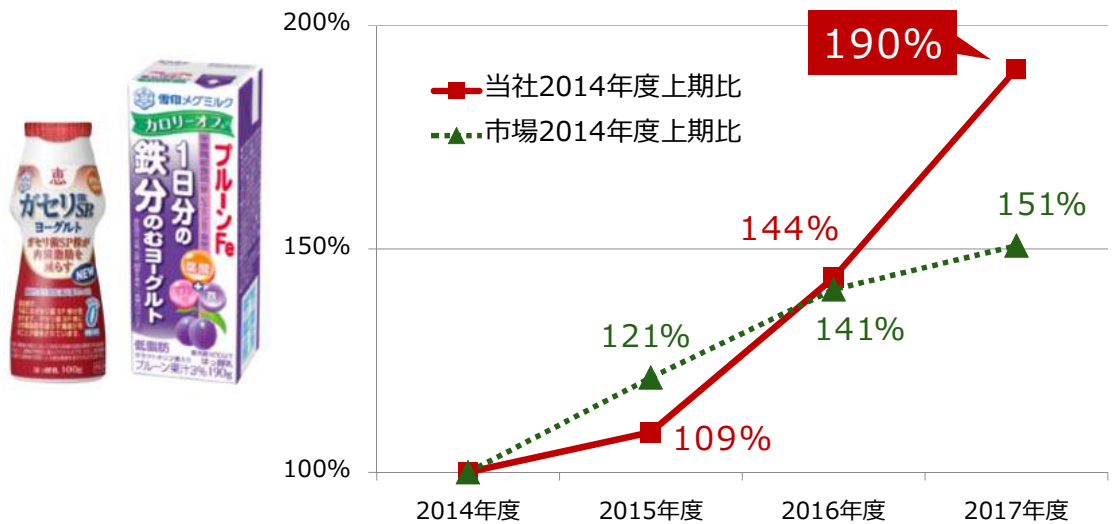
	上期実績	前期比	予想比	通期予想	前期比
売上高	1,439	100.1	97.7	2,842	102.4
営業利益	34	106.8	102.3	61	131.9

当社保有の乳酸菌「ガセリ菌SP株」の機能訴求の継続  
 ドリンクヨーグルトの販売好調  
 高付加価値商品の販売拡大によるプロダクトミックスの改善



ドリンクヨーグルトの販売および市場動向（上期）

【ドリンクヨーグルト伸長率（2014年度上期比）】



(市場：インテージSCI)



【主な学会発表】

**ガセリ菌S P株**

- 2012.09.28 内臓脂肪蓄積抑制作用について
- 2012.10.16 歯周病に対する抗炎症作用について
- 2012.10.24 免疫系の活性化とストレス軽減効果について
- 2012.12.05 インフルエンザウィルスに対する感染予防効果について
- 2013.06.05 線虫の寿命延長とその作用機構について
- 2014.10.16 インフルエンザウィルスの感染予防効果メカニズム解明について
- 2015.07.12 ヒト試験で脂質排出作用を確認
- 2016.05.15 エネルギー消費量増加作用を確認
- 2017.04.17 RSウイルス感染防御効果を確認



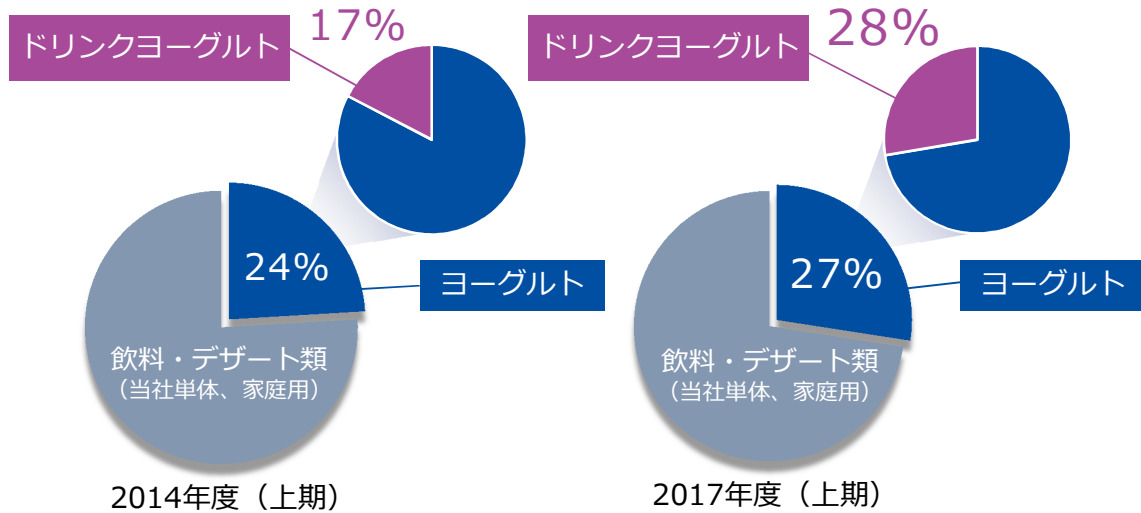
【機能性表示食品として受理】

- 2015.05.25届出 ガセリ菌S P株ヨーグルト 3品
- 2015.06.15届出 ガセリ菌S P株ヨーグルト 1品
- 2016.04.19届出 ガセリ菌S P株ヨーグルト（宅配専用） 2品

## 市乳事業分野（ヨーグルト）



飲料・デザート類セグメントにおけるヨーグルトの売上構成比推移 (当社単体、家庭用)



ドリンクヨーグルトを中心に高付加価値商品の売上構成比アップ  
市乳事業分野の収益構造の改善推進

## 市乳事業分野（ヨーグルト）



### 1. ヨーグルトにおける集中的投資の推進

### 2. ヨーグルト事業の取組強化

- ▶ ガセリ菌SP株ヨーグルト 小型プラボトルラインの販売拡大

#### 上期稼働

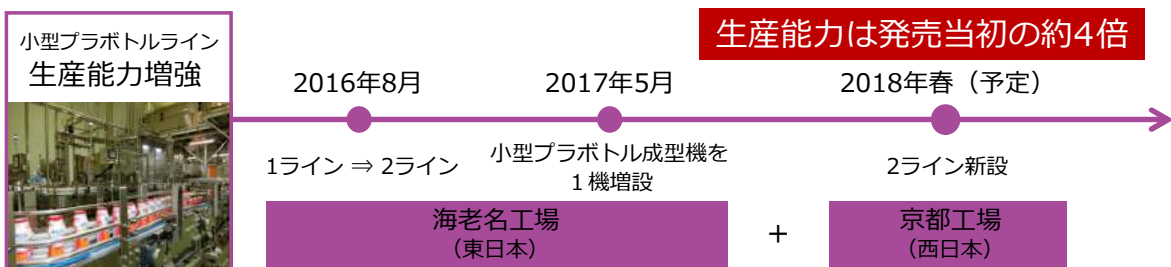
- ◆ドリンク 海老名工場
- ◆プレーン 海老名工場
- ◆ソフト 協同乳業

能力増強



#### 下期以降稼働予定

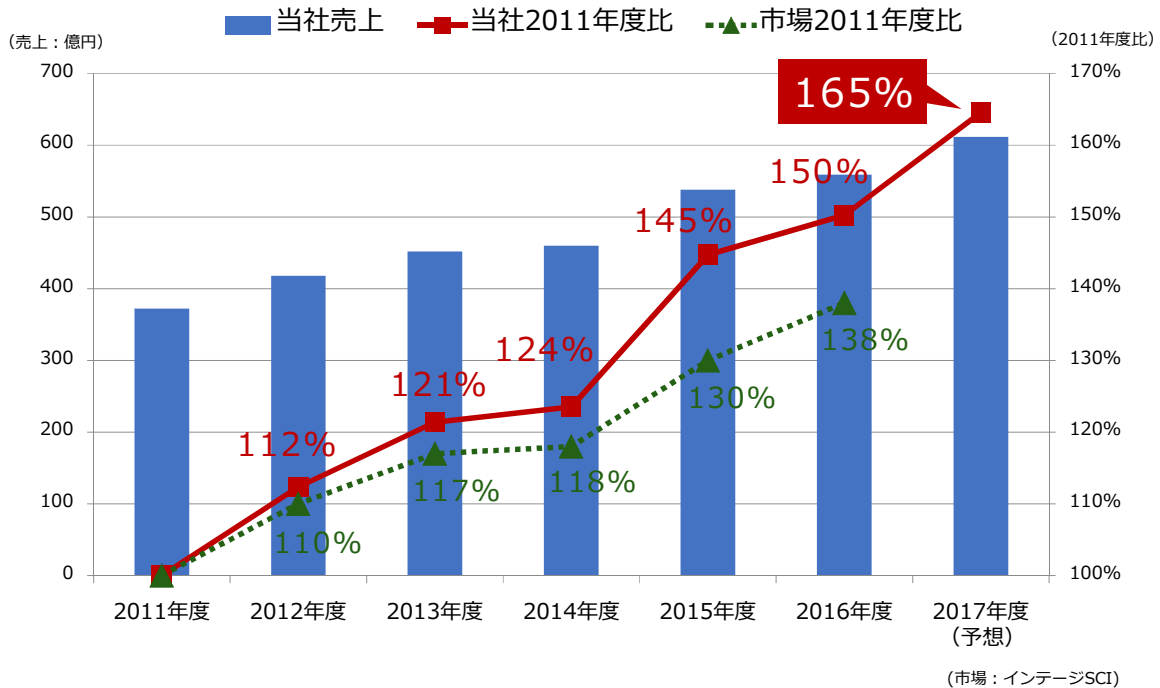
- ◆ドリンク 京都工場 (2018年春稼働予定)
- ◆ハード 海老名工場 (2018年1月稼働予定)



## 市乳事業分野（ヨーグルト）



### 【家庭用ヨーグルトの売上高および伸長率推移】



## ニュートリション事業分野（業績）



乳製品セグメントのうち、

### 【ニュートリション事業】

(億円、%)

	上期実績	前期比	予想比	通期予想	前期比
売上高	97	105.4	91.8	216	113.7
(内訳)					
機能性食品	21	136.1	88.4	53	158.0
育児用粉乳等	76	99.3	92.8	163	104.2

機能性食品：「毎日骨ケア MBP®」を中心に販売好調  
 育児用粉乳等：市場の縮小傾向で販売減少

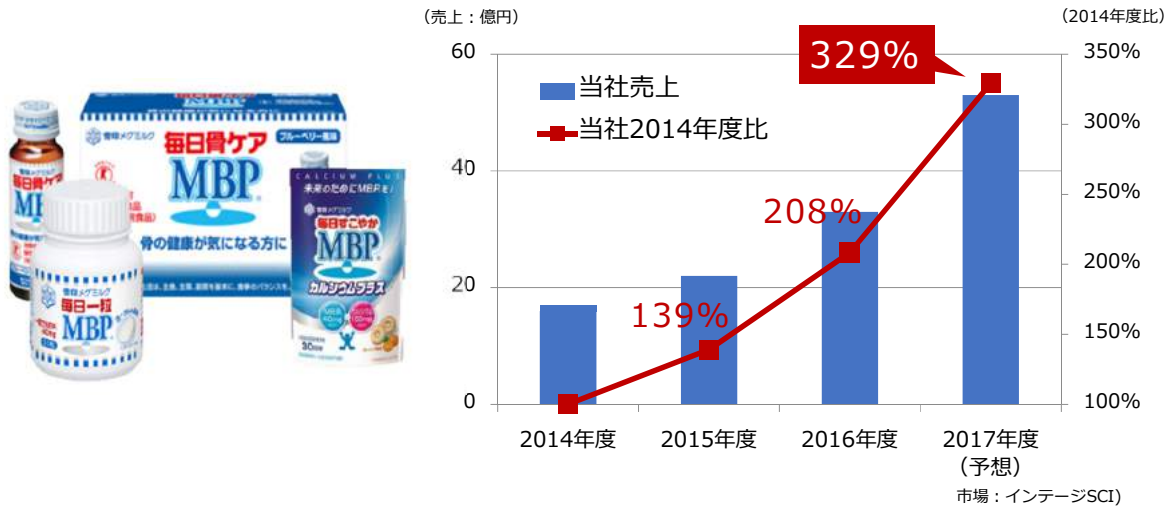




## マーケティング投資による事業規模拡大

- ▶ 「MBP®」を中心とした広告・プロモーション
- ▶ ポイントプログラムの導入

【機能性食品事業の売上高および伸長率推移】



## 粉乳カテゴリーにおける事業構造の改革

- ▶ 大人向け粉ミルクの広告・プロモーション



大人向け粉ミルク「プラチナミルク」

- ▶ アジア市場における成人向け・妊産婦向け粉乳の拡大



成人向け粉ミルク



妊産婦向け粉ミルク



## 【飼料・種苗セグメント】

(億円、%)

	上期実績	前期比	予想比	通期予想	前期比
売上高	235	104.3	106.2	421	97.9
営業利益	13	116.9	135.6	10	79.7

種苗事業：牧草・緑肥作物やサイレージ用乳酸菌の販売好調  
 飼料事業：販売物量、販売単価とも前年を上回る

67



## 種苗事業の売上拡大

- ▶ 新研究棟を活用した新品種開発の推進
- ▶ 牧草・緑肥作物等の販売拡大

雪印種苗(株) 北海道研究農場新研究棟



68



## 国産乳製品の事業競争基盤の強化

### 機分内工場

- ▶ バター製造等に関わる新棟の建設
- ▶ ユーティリティ設備に関わる新棟の建設

投資額：約200億円

2020年度下期  
(稼動開始予定)



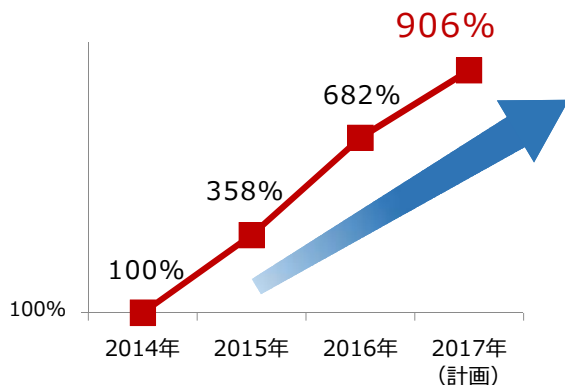
## インドネシアの展開拡大

### 雪印メグミルクインドネシア

- ▶ シンガポールへ輸出開始 (2017年8月)
- ▶ ブロックチーズ生産ライン増設および製造棟の増床・増設 (2018年上期)



2014年を100とした場合の販売物量の推移  
(インドネシア)





## オーストラリアの展開拡大

- ▶ アダーデライツオーストラリア社の株式取得 (2017年9月)

投資額：約12億円

雪印メグミルク (株) 45%  
雪印オーストラリア (有) 45%  
Sullivan Enterprises (SA) Pty Ltd 10%



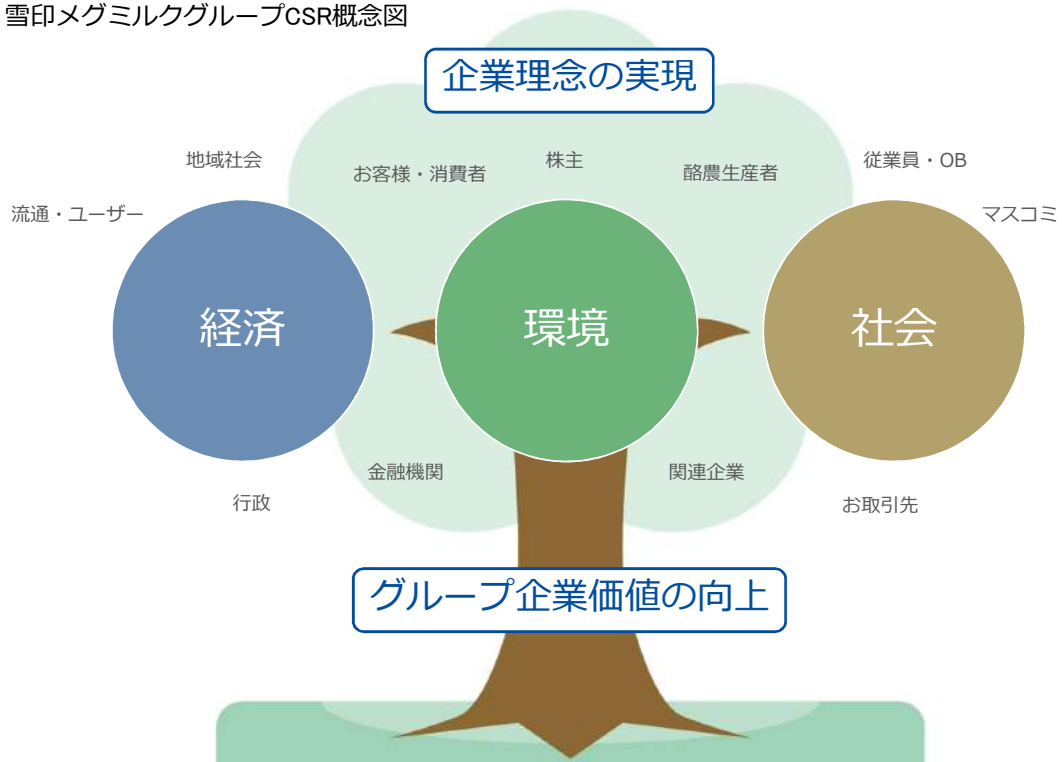
## 5 CSR 経営





## CSR 経営 [ 1 ]

雪印メグミルクグループCSR概念図



73

## CSR 経営 [ 2 ] 経済側面

経済

安全で安心していただける商品・サービスの提供を通して皆様の健康に寄与する



独自の品質保証システムによる品質管理の徹底



お客様の声の傾聴（お客様センター）



ミルクの価値を高める商品の提供  
（日本食糧新聞「優秀ヒット賞」）



生乳生産量の拡大と酪農振興（TACSしべちゃ）



74

## CSR 経営 [ 3 ] 環境側面

かけがえのない地球環境の保全に貢献する



ISO14001の認証取得



燃料転換によるCO<sub>2</sub>の削減  
(別海工場 液化天然ガス貯蔵タンク)



環境意識の向上 (環境教育、研修の実施)



緑化活動の推進 (北海道庁前に花壇の設置)

## CSR 経営 [ 4 ] 社会側面

社会の要請に的確に応え、食の楽しさと大切さを皆様に提供する



特殊ミルクの製造・供給



食育活動



酪農と乳の歴史館



スポーツ支援 (雪印メグミルクスキー部)



地域貢献活動 (牧場まつり 雪印こどもの国牧場)



スポーツ大会への協賛 (女子サッカー)



## 「ミルク未来創造企業」へ



未来は、ミルクの中にある。

本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想数値と異なる場合があります。

補足資料① 用語説明

用語	説明
セイニウ 生乳	牛乳や乳製品の原料
シニウ 市乳	飲料やヨーグルトを含む飲料・デザート類 セグメントを事業分野ではこの表現で統一
ニュートリション	「栄養物の摂取」「栄養作用」「栄養学」などを 意味する。健康維持・増進などの下支えに貢献し、 暮らしにサポートする事業名とした
雪印メグミルクバリュー	グループ役職員一人ひとりが、 大切に考える共通の姿勢・価値観
トランスフォーメーション アンド リニューアル Transformation & Renewal	「変革」、そして更なる「進化」へ
事業ポートフォリオ	持続的な成長を可能とするため、複数の事業が利益 を創出できる、事業の組み合わせ
プロダクトミックス	企業あるいは事業単位によって 生産・販売される商品の構成

補足資料② 用語説明

用語	説明
チーズのボーダレス展開	チーズを国内にとどまらず、海外にも展開させて いくこと
機能性ヨーグルト	ガセリ菌 S P 株など機能性乳酸菌を添加したヨー グルト。プロバイオティクスヨーグルトと同義
タックス TACSしべちゃ	雪印種苗(株)が標茶町農業協同組合様、標茶町様の 取組みに賛同し、設立した農業生産法人。 低コスト型の経営を目指すと共に実践内容を積極 的に地域に普及させることに取り組む
バリューチェーン	研究開発、調達、製造、流通、販売など顧客に価 値が届けられるまでに企業間で付加される価値の つながりのこと
アールオーイー ROE	純利益／自己資本（自己資本利益率） 自己資本を「元手」として、1年間でどれだけの 利益をあげたか、収益性を測る指標の一つ
イービットディーイー EBITDA	営業利益＋減価償却費 キャッシュフロー創出力として、投資に対する 回収可能性を示す指標